

令和六年度 第四回 伊平屋村三校合同研修会



たより

文責
伊平屋村教育委員会
屋比久健太郎



つながり ひろがり ともに学ぶ
伊平屋の島発ち教育

令和六年十月九日（水）伊平屋小学校にて、一般社団法人麻布教育ラボ所長 村瀬公胤先生を招聘し第四回伊平屋村三校合同研修会が行われました。三校合同研のねらいは、①「伊平屋村三校の教職員が一堂に会し、村学推重点取り組みを視点とした授業参観及び振り返り等の研修を行うことにより、「すべての子に学びを保障する」授業づくりを推進する。」②「小・中の各校の連携を密にし、共通実践の確認及び教職員同士が学び合う機会とする。」である。

今回は伊平屋小学校にて上運天賢洋教諭による五年生の社会にて公開授業が行われました。一人一台のタブレット端末を活用し児童が本時の学習課題に対して自問自答したり、ペアやグループでの学習にて学びを深めていました。授業後のグループ協議においては、「子どもの学び姿」とそれを支える「教師の手立て」について協議を行った。今年度最後の合同研修会には長野県よりCSマイスターの前川浩一さん、八坂中学校から平林隆昭先生、大宜味村教育長・指導主事、国頭村指導主事、東村指導主事も本研修会へ参加頂きました。



伊平屋村コミュニティ・スクール講演会

次年度より始まる伊平屋村コミュニティ・スクールに向けて、文部科学省総合教育政策局 CSマイスター前川浩一氏を招聘し、「これからの地域と学校の連携・協働の推進について（地域とともにある学校へ）」のテーマにて令和六年十月九日（水）午後六時三十分からコミュニティ・スクール講演会を開催しました。講演会へは村内の教職員、地域住民、これからコミュニティ・スクールについて学びたいと伊江村、伊是名村、東村、国頭村、大宜味村からも参加がありました。今回は、参加者からの感想を一部掲載します。

・地域オリジナルしかない、地域が地域の教育をデザインするという言葉がものすごく印象に残っています。私自身も、この島で育ち島発ちをしてから戻ってきた者として、学ぶことや感じることも多く、この思いや私たちが経験してきたことを伝え更によりよい島になっていくように地域と協力しながら子供たちに繋いでいきたいと思いました。

・コミュニティ・スクールの講演会ということで、とても勉強になりました。やはり地域の方の協力・協働は欠かせないものだと感じました。特に教職員はその学校にずっといるわけではないので、地域と共に学校をつくっていくことが、より良い、幸せな学校に繋がっていくのではないかと感じました。また、今日の講演会には小・中学校の先生方はほとんどが参加したと思いますが、地域の方が思ったよりも少なかったなと思いました。今日の講演会の内容をもっと保護者、地域の方にも足を運んで頂き、聞いて欲しいなとは率直に感じました。

